

**NXPowerLite™** - データ圧縮ソフト -

NXPowerLite 8 デスクトップエディション

---

マニュアル

---



# 目次

<b>1. NXPowerLite デスクトップエディション</b> .....	<b>3</b>
1.1. 動作環境およびサポートしているファイル形式 .....	3
<b>2. NXPowerLite デスクトップエディションの 利用方法</b> .....	<b>5</b>
2.1. プログラムをインストールする .....	5
2.2. シリアルナンバーを登録する .....	7
2.3. フォルダーを追加してファイルを軽量化する .....	8
<b>3. 各種機能・設定</b> .....	<b>10</b>
3.1. 連携機能 .....	10
3.1.1. Lotus Notes 連携 .....	10
3.1.2. Outlook 連携 .....	11
3.1.3. Windows エクスプローラー連携 .....	13
3.2. 軽量化に関する設定 .....	14
3.2.1. 軽量化レベル .....	14
3.2.2. 保存時の設定とファイルの保存先 .....	17
3.2.3. ファイル名 .....	18
3.3. ヘルプ .....	19
<b>4. その他</b> .....	<b>20</b>
4.1. ファイル軽量化の仕組み .....	20
4.2. 軽量化レベルの設定による JPEG 画質レベルの比較 .....	21
4.3. NXPowerLite を大量に展開する .....	23
4.3.1. 複数の PC に NXPowerLite を大量導入する .....	23
4.3.2. シリアルナンバーや各種設定値を一括適用する .....	28
4.4. ファイルが軽量化されない理由 .....	31
4.4.1. ファイルに関する問題 .....	31
4.4.2. システムエラー .....	33
4.4.3. トラブルシューティング .....	33
4.5. アンインストール方法 .....	34

# 1. NXPowerLite デスクトップエディション

NXPowerLite デスクトップエディションは、クライアント端末に保存されている肥大化した Microsoft Office ファイル (PowerPoint、Word、Excel) や JPEG、PDF ファイルを、クオリティを損なうことなくファイルサイズを削減し、容量不足の解消および効率的なリソースの活用を実現するソリューションです。容量が大きいファイル内の余分な部分を取り除き、画像を最適なデータ形式と解像度に変換することにより、ファイルそのものを圧縮します。ファイル形式や拡張子、機能は全て変わらず、画質や見た目もそのままの状態、ファイル内に含まれる全ての属性を保持します。解凍ソフトは必要なく、特別な閲覧ソフトも必要がないため、今まで通り同じ形式のままファイルを開くことができ編集も可能です。NXPowerLite デスクトップエディションは、非可逆圧縮によりファイルを圧縮します。ファイル内に数多く存在する余分な部分を取り除き、最適になるように調整します。

## 1.1. 動作環境およびサポートしているファイル形式

最新の動作環境および詳細は、以下のページをご参照ください。

<https://www.nxpowerlite.jp/products/nxpowerlite-desktop.html#system>

### オペレーティングシステム

Windows 7 SP1 / 8.1 / 10 32bit および 64bit

※ 体験版の NXPowerLite デスクトップエディションの場合、一度に軽量化できるファイル数は最大 20 に制限されています。



NXPowerLite デスクトップエディションは、ローカルの端末上に保存されたファイルの軽量化を行うことを前提に作られています。バッチ処理を行うことで最大 10000 ファイルの軽量化を行うことはできますが、その軽量化処理の速度や信頼性は使用しているハードウェアやネットワークに依存してしまいます。その為、大量のファイルやネットワーク上のファイルサーバーに保存されたファイルの軽量化を行う場合は、NXPowerLite ファイルサーバーエディションのご利用をご検討ください。

## サポートしているファイルの種類

---

- **PDF**

PDF のバージョンが 1.4 から 1.7 Extension Level 8 のファイル。また、以下の規格に準拠した PDF ファイル。

PDF/A, PDF/X, PDF/E, PDF/UA, PDF/VT

※ NXPowerLite は PDF ポートフォリオを軽量化しません

- **Microsoft Office**

Microsoft Office 97-2019、Office 365 で作成したファイル。以下の拡張子を持つファイルに対応しています。

PowerPoint: pptx, pptm, ppt, ppsx, ppsm, pps, potx, potm, pot

Word: docx, docm, doc, dotx, dotm, dot

Excel: xlsx, xslm, xls, xltx, xltm, xlt

- **JPEG**

以下の拡張子を持つ JPEG ファイルに対応しています。

JPEG, JPG, JPE, JFIF, JIF, JFI

- **PNG**

png の拡張子を持つファイルに対応しています。

- **TIFF**

tiff および tif の拡張子を持つファイルに対応しています。

- **Zip ファイル**

上記の拡張子を持つファイルを含む Zip ファイルに対応しています。

## 2. NXPowerLite デスクトップエディションの 利用方法

### 2.1. プログラムをインストールする

1. ダウンロードしたインストーラーを管理者権限で実行します。  
※インストールが実行できない場合、MSI ファイルを右クリックし、[セキュリティ]の[ブロックの解除]-[適用]-[OK]をクリックします。
2. インストールウィザードに沿って[次へ]をクリックします。



3. セットアップタイプを選択します（[標準]でのインストールを推奨しています）。



4. [インストール]をクリックし、インストールを実行します。



5. 以下の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてウィザードを終了します。



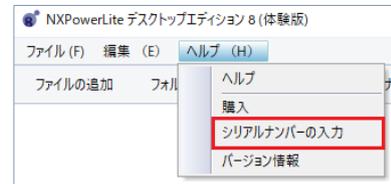
6. デスクトップ上に NXPowerLite デスクトップエディションのアイコンが作成されます。ダブルクリックするとプログラムが起動し、ダッシュボードが表示されます。

▼アイコン ▼ダッシュボード



## 2.2. シリアルナンバーを登録する

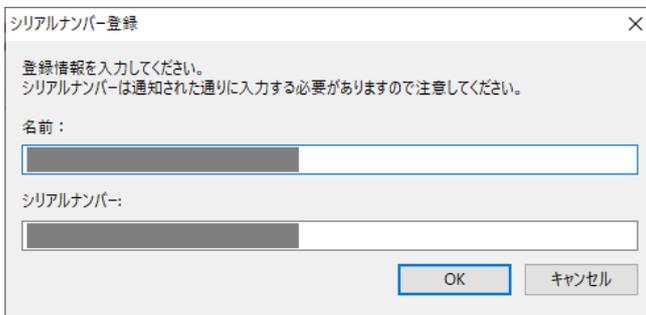
シリアルナンバーの登録は、[シリアルナンバーの入力]メニュー、または[ヘルプ]-[シリアルナンバーの入力]で行います。



1. [シリアルナンバーの入力]をクリックします。

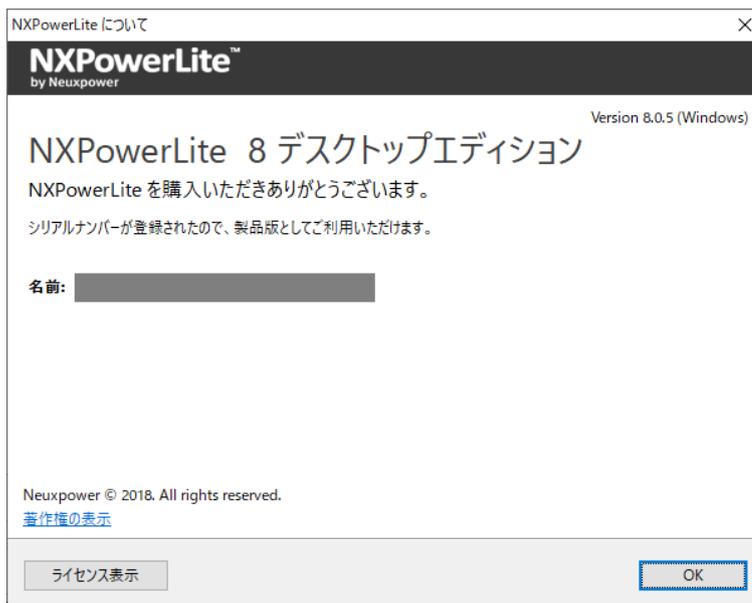


2. お手持ちのシリアルナンバーを入力します。



※シリアルナンバーは大文字、小文字を区別します。納品メールに記載の通り入力してください。

3. シリアルナンバーが有効であれば、「NXPowerLite について」のウィンドウが表示され、承認された登録情報の詳細が表示されます。



## 2.3. フォルダーを追加してファイルを軽量化する

1. 以下のいずれかの方法で、軽量化を行うフォルダーまたはファイルを追加します。

- フォルダーまたはファイルをドラッグアンドドロップする。
- [ファイルの追加]または[フォルダーの追加]メニューをクリックし、フォルダーまたはファイルを選択する。

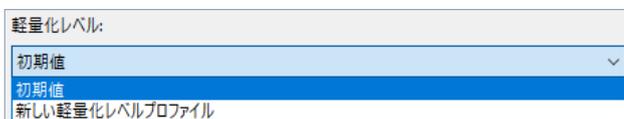


- ファイルを右クリックし、表示されたメニューから「NXPowerLite を起動して実行」をクリックする。



※ フォルダーを NXPowerLite に追加すると、対象フォルダー内のファイルは追加されますが、サブフォルダー内にあるファイルは追加されないのをご注意ください。

2. 軽量化のレベルを変更する場合、[軽量化レベル]に使用するプロファイル (3.2.1 参照) を指定し、[OK]をクリックします。

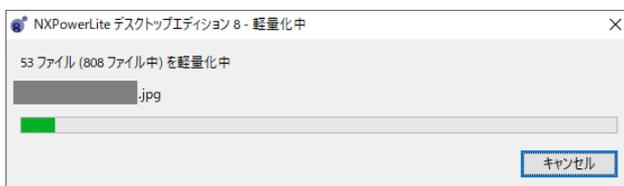


3. 保存方法および保存先を変更する場合、[保存時の設定][軽量化済みファイルの保存先] (3.2.2 参照) を指定します。



4. [軽量化]をクリックすると軽量化を開始します。処理の進捗はステータスバーで確認できます。

▼ステータスバー





## 3. 各種機能・設定

### 3.1. 連携機能

#### 3.1.1. Lotus Notes 連携

NXPowerLite は、Lotus Notes 8.0 - 9.0 を使用して作成された電子メールに添付されたファイルの軽量化を行うことができます。

Lotus Notes 連携機能をインストールした場合、Lotus Notes の E メールに Office ファイル、PDF ファイル、JPEG ファイル、PNG ファイル、非圧縮の TIFF ファイル、またこれらを含む Zip ファイルが添付されている場合、送信前に軽量化します。Lotus Notes のメインウィンドウおよびメッセージ作成画面の [アクション]メニューより、[NXPowerLite 有効]、[NXPowerLite 無効]のどちらかを選択することができます。

初期設定では、既定のメールプログラムで新規作成画面を開くと、NXPowerLite の E メール連携機能は有効となっています。設定<sup>1</sup>の変更は、NXPowerLite のアドインから行ってください。

<b>軽量化レベル：</b>	
Eメールの添付ファイルに対して適用したい軽量化レベルを選択します。新しい軽量化レベルプロファイルを作成する場合、アプリケーション上の編集メニュー内の[軽量化レベル]から作成してください。	
<b>軽量化設定：</b>	
<b>最小サイズ</b>	NXPowerLite は、添付されたファイルの合計サイズが「最小サイズ」で指定したサイズ以下のファイルは軽量化しません。
<b>ファイル形式</b>	軽量化対象のファイル形式を選択します。例として、Eメールに Excel ファイルが添付されていても軽量化したくない場合には「Excel」のチェックを外します。
<b>上記で選択したファイル形式を含む Zip ファイル</b>	このオプションを有効にした場合、「ファイル形式」で選択したファイル形式を含む Zip ファイルが軽量化されます。
<b>埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する</b>	添付されたファイル内の「埋め込まれた文書の図形化」を実行するか送信前に確認します。確認画面では以下のオプションが選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 埋め込まれた文書の図形化を実行後に送信する</li><li>• 埋め込まれた文書の図形化を実行せずに元ファイルを送信する</li><li>• 設定を変更するためキャンセルして新規作成画面に戻る</li></ul> 「埋め込まれた文書の図形化」を実行しないようにするには、軽量化レベルプロファイルで「埋め込まれた文書の図形化」を無効にしてください。

<sup>1</sup> Lotus Notes の「最小サイズ」設定は機能しません。

### 3.1.2. Outlook 連携

NXPowerLite は、Microsoft Outlook（2010-2019、Office 365）<sup>1</sup>を使用して作成された電子メールに添付されたファイルの軽量化を行うことができます。

Outlook 連携機能をインストールした場合、Outlook の E メールに Office ファイル、PDF ファイル、JPEG ファイル、PNG ファイル、非圧縮の TIFF ファイル、またこれらを含む Zip ファイルが添付されている場合、送信前に自動で軽量化を行います。また、軽量化後に Zip 圧縮を実行し、ファイルサイズをさらに小さくして E メールを送信することも可能です。

メールの新規作成時、初期設定では NXPowerLite の E メール連携機能は有効となっています。無効にするには、新規作成画面のリボンに表示される[NXPowerLite 有効]ボタンをクリックしてください。ボタンが[NXPowerLite 無効]に変更されると、送信時に添付ファイルの軽量化や Zip 圧縮を行いません。再度有効化されるまで、NXPowerLite の機能は無効のままとなります。

Eメールの送信ボタンをクリック後、NXPowerLite は軽量化処理実行中に進捗を表示するダイアログが表示されます。ダイアログ上には以下の 2 つのオプションが表示されます。

- [キャンセル]: 軽量化処理を中止し、Eメールの作成画面に戻ります。
- [軽量化前の添付ファイルを送る]: 軽量化処理を中止し、添付された元ファイルを送信します。

また、NXPowerLite は軽量化対象ファイルが添付された受信済み E メールを軽量化することができます。軽量化したい受信メールを右クリックし、「軽量化の実行(NXPowerLite)」をクリックして実行します。軽量化の実行中はプログレスバーが表示され、Outlook の操作は行えません。軽量化結果画面が表示されれば完了となります。

一度軽量化された E メール(送信元で送信される際に軽量化された E メールも含む)は再度軽量化することはできません。軽量化された E メールを右クリックし、「詳細の確認(NXPowerLite)」をクリックすることでどのように軽量化されたのかを確認できます。



現在、受信した E メールを一つずつ軽量化することはできますが、複数の受信メールを一度に軽量化することはできません。

<sup>1</sup> NXPowerLite は Outlook の他、Microsoft PowerPoint, Word, Excel（2010-2019、Office 365）とも連携します。なお、Office 2010 より前のバージョンはサポート対象外となります。また Microsoft ストア版、Web ブラウザ版との連携は非対応です。

設定の変更は、NXPowerLite のアドインから行ってください。

<b>軽量化レベル：</b>	
Eメールの添付ファイルに対して適用したい軽量化レベルを選択します。新しい軽量化レベルプロファイルを作成する場合、アプリケーション上の編集メニュー内の[軽量化レベル]から作成してください。	
<b>軽量化設定：</b>	
<b>最小サイズ</b>	NXPowerLite は、添付されたファイルの合計サイズが「最小サイズ」で指定したサイズ以下のファイルは軽量化しません。
<b>ファイル形式</b>	軽量化対象のファイル形式を選択します。例として、Eメールに Excel ファイルが添付されていても軽量化したくない場合には「Excel」のチェックを外します。
<b>上記で選択したファイル形式を含む Zip ファイル</b>	このオプションを有効にした場合、「ファイル形式」で選択したファイル形式を含む Zip ファイルが軽量化されます。
<b>埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する</b>	添付されたファイル内の「埋め込まれた文書の図形化」を実行するか送信前に確認します。確認画面では以下のオプションが選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 埋め込まれた文書の図形化を実行後に送信する</li> <li>• 埋め込まれた文書の図形化を実行せずに元ファイルを送信する</li> <li>• 設定を変更するためキャンセルして新規作成画面に戻る</li> </ul> 「埋め込まれた文書の図形化」を実行しないようにするには、軽量化レベルプロファイルで「埋め込まれた文書の図形化」を無効にしてください。
<b>Zip 圧縮設定</b>	
<b>Zip 圧縮して送信</b>	初期設定では有効になっており、以下の各オプションの設定値で Zip 圧縮後に送信されます。
<b>最小サイズ</b>	NXPowerLite は、添付されたファイルの合計サイズが[最小サイズ]で指定したサイズ以下のファイルは軽量化しません。「0」を指定した場合は、すべての添付ファイルが Zip 圧縮されます。
<b>最小 Zip 圧縮率</b>	実際の Zip 圧縮率がこのオプションの設定値より低い場合、Zip 圧縮を行わずに Eメールを送信します。例えば、実際の Zip 圧縮率が 5%で、このオプションの設定値が 10%であった場合には、Zip 圧縮は実行せずに Eメールを送信します。
<b>Zip 圧縮の実行をそのつど確認する</b>	このオプションにチェックを付けた場合には、添付ファイルの Zip 圧縮を実行するかどうかの確認を送信前に行います。以下のオプションが選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Zip 圧縮した添付ファイルを送信 Zip 圧縮した添付ファイルを送信します。</li> <li>• 添付ファイルを Zip 圧縮しない 添付ファイルを Zip 圧縮しないで送信します。</li> <li>• 送信キャンセル 送信をキャンセルしてメッセージ作成画面に戻ります。</li> </ul> ※ 添付ファイルの Zip 圧縮を実行しないようにするには、[Zip 圧縮して送信]のチェックを外してください。
<b>拡張子の変更</b>	このオプションにチェックを付けた場合には、Zip 圧縮後に作成された Zip ファイルの拡張子を、指定した拡張子に変更することができます。例えば、[拡張子の変更]を「.piz」と指定した場合には、NXPowerLite で Zip 圧縮後「ファイル名.piz」という名前の Zip ファイルが Eメールに添付されて送信されます。

### 3.1.3. Windows エクスプローラー連携

PDF、PowerPoint、Word、Excel、JPEG、PNG、非圧縮の TIFF、Zip ファイルに対して、Windows エクスプローラー上の右クリックメニュー<sup>1</sup>から NXPowerLite を実行できます。メニュー内のオプションは以下の通りです。

すべてのファイル形式で実行できるオプション	
以下のオプションは、Windows エクスプローラー連携時すべてのファイル形式に対して実行可能です。	
<b>NXPowerLite を起動して実行</b>	NXPowerLite を起動し、軽量化対象リストとしてメイン画面にファイルを追加します。
<b>軽量化の実行<sup>2</sup> &gt; 軽量化済みファイルの作成</b>	元ファイルに対して処理は行わず、元ファイルと同じフォルダーに軽量化済みのファイルが新規に作成されます。
<b>軽量化の実行<sup>2</sup> &gt; 元ファイルのバックアップの作成</b>	元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きします。また、元ファイルのバックアップが同じフォルダー内に作成されます。
<b>軽量化の実行<sup>2</sup> &gt; 元ファイルに上書き</b>	元ファイルを軽量化済みファイルで上書きします。元ファイルのバックアップは作成されません。
<b>軽量化+ &gt; Zip 圧縮</b>	軽量化を実行後に軽量化済みファイルを Zip 圧縮します。
<b>軽量化+ &gt; E メールへ添付</b>	軽量化を実行後に、Eメールの新規作成画面に軽量化済みファイルを添付します。
<b>軽量化+ &gt; Zip 圧縮して E メールへ添付</b>	軽量化を実行後に Zip 圧縮して、Eメールの新規作成画面に添付します。
JPEG ファイルで実行できるオプション	
以下のオプションは、Windows エクスプローラー連携時 JPEG ファイルに対して実行可能です。以下のオプションでは設定された JPEG 画質を使用して、画像の解像度が 1920×1080（フル HD の解像度）にリサイズされます。縦横比が異なる場合は長辺が 1920 ピクセルに合わせた比率になります。	
<b>次の解像度で軽量化（1920 x 1080） &gt; リサイズ済みファイルの作成</b>	元ファイルに対して処理は行わず、元ファイルと同じフォルダーに 1920 x 1080 でリサイズした軽量化済みのファイルが新規に作成されます。
<b>次の解像度で軽量化（1920 x 1080） &gt; 元ファイルのバックアップの作成</b>	元ファイルを 1920 x 1080 でリサイズした軽量化済みのファイルで上書きします。また、元ファイルのバックアップが同じフォルダー内に作成されます。
<b>次の解像度で軽量化（1920 x 1080） &gt; 元ファイルに上書き</b>	元ファイルを 1920 x 1080 でリサイズした軽量化済みファイルで上書きします。元ファイルのバックアップは作成されません。

<sup>1</sup> 対象ファイルを選択した状態で、[Shift]+[F10]キーを押下することで NXPowerLite の Windows エクスプローラー連携機能を表示されることもできます。

<sup>2</sup> 「軽量化の実行」では NXPowerLite を起動することなくファイルの軽量化を実行できます。

## 3.2. 軽量化に関する設定

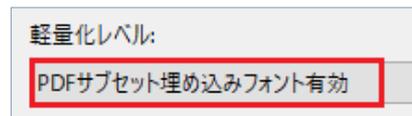
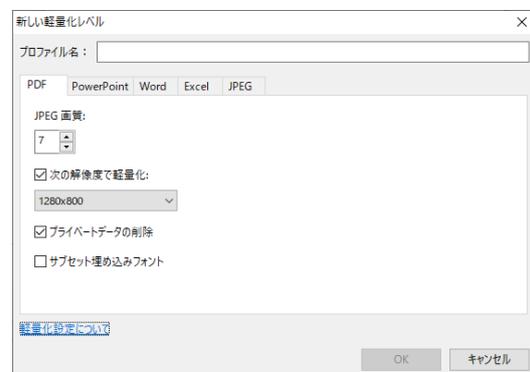
### 3.2.1. 軽量化レベル

初期設定の軽量化レベルは初期値となります。モニターやプロジェクターでファイルを開覧する場合にお薦めです。その他のディスプレイでも、高品質なファイルを開覧できますが、高解像度のモニターで閲覧する場合や高画質印刷を行う場合には適しない場合もあります。

軽量化レベルプロファイルの新規作成を行う場合、軽量化レベル画面で初期値のプロファイルのコピーをベースに作成する方法をお薦めします。新しくプロファイルを作成する場合、プロファイル名および軽量化レベルは任意の値に設定できます。

1. メイン画面の[軽量化レベル:]から[新しい軽量化レベルプロファイル]またはメイン画面の[編集]ボタンから[軽量化レベル]-[新規作成]を選択します。
2. PDF、Microsoft Office、JPEG ファイルに対する軽量化レベルの選択を行います。
3. プロファイル名を指定して「OK」を選択します。

※ 使用する際は、メイン画面上の「軽量化レベル」欄に作成したプロファイルが指定されていることをご確認ください。



軽量化レベルの設定	
<b>JPEG 画質 (初期値 : 7)</b>	このオプションでは、ファイル内の画像を軽量化する際の画質を設定します。設定値は「1」から「9」までであり、値が大きいほど画質は高くなりますが、あわせてファイル容量も大きくなります。例えば、JPEG 画質の設定値が「1」の場合、ファイルサイズはかなり小さくなりますが、見た目の画質は粗くなる可能性があります。一方、JPEG 画質の設定値が「9」の場合、見た目の画質は維持できますが、ファイルサイズはあまり小さくなりません。 見た目の画質維持と、効果的と感じられるファイルサイズの軽量化率を得るには、初期値を適用して軽量化することをお勧めします。
<b>次の解像度で軽量化 : (初期値 : 1280 x 800)</b>	Office ファイルには、デジタルカメラで撮られた高解像度でサイズの大きな画像が貼り付けられていることが多々あります。NXPowerLite は解像度を指定した軽量化が可能です。ある解像度を選択して軽量化したファイルを、より高い解像度で表示すると、ファイル中の画像が少しぼやける場合があります。

PDFのみ	
<b>プライベートデータの削除</b> (初期値：有効)	<p>PDF ファイルの作成や編集が可能な Adobe Acrobat、InDesign、Illustrator、Photoshop などのアプリケーションではファイル内にそれぞれのアプリケーション固有の編集データを保持することができます。</p> <p>一例として、Adobe Illustrator の場合、PDF 保存時のオプションにある「Illustrator の編集機能を保持する」をチェックした上で保存を行ったファイルには、保存された PDF には「PDF に関するデータ」と「Illustrator のアプリケーション固有の編集データ」という 2 つのデータが含まれます。（このアプリケーション固有の編集データを保持した場合、当該 PDF を再度、Illustrator で開く際、Illustrator のファイルとして開くことができます）</p> <p>NXPowerLite の[プライベートデータの削除]機能を使用すると、上記のうちアプリケーション固有の編集データを削除することができます。なお、編集データを削除した場合、Adobe 製品のアプリケーション固有の編集データを使用する機能は無効になりますが、PDF ファイル自体の基本的な編集は可能です。</p> <p>※編集者や更新日時といったメタ情報は削除されません。</p>
<b>サブセット埋め込みフォント</b> (初期値：無効)	<p>このオプションを有効にするとレイアウト内で使用されている文字だけを PDF に保存します。</p>
Microsoft Officeのみ	
<b>画像のトリミングを許可</b> (初期値：有効)	<p>このオプションを有効にすると、トリミングツールで調整された画像を検出し、トリミングされた部分のデータを削除します。これによりファイル容量は削減されますが、削除された画像データを復帰させることはできません。</p> <p>※Office Open XML 形式のファイル内にあるトリミングされた画像は、「画像のトリミングを許可」が有効な状態でもトリミング箇所は削除されません。</p>
<b>埋め込まれた文書の図形化</b> (初期値：有効)	<p>このオプションを有効にすると、以下のファイル：Office ファイルに含まれるオブジェクト(Excel で作成されたグラフなど)は、すべて画像として処理されます。図形変換を行うと、ファイル容量は大幅に減りますが、図形変換した埋め込み文書は再編集できなくなります。</p> <p>例えば、図表を含む Excel シートが埋め込まれた PowerPoint 文書は、その図表をダブルクリックすることにより、Excel 上で編集することができます。しかし、軽量化によりファイル内の埋め込まれた文書は画像に変換されるので、再度図表をダブルクリックしても、Excel で編集することはできません。</p> <p>埋め込まれた文書の図形化を実行した場合、軽量化後の結果画面に、ファイル名とともにメッセージが表示されます。埋め込まれた文書の図形化を実行したくない場合は、軽量化レベルの設定でこのオプションを無効にしてください。</p> <p>※Office Open XML 形式のファイル内に埋め込まれたオブジェクトは、「埋め込まれた文書の図形化」の対象外です。</p>
<b>【PowerPointのみ】 スライドマスターの軽量化</b> (初期値：有効)	<p>このオプションはスライドマスターに含まれる画像を軽量化するかどうか選択することができます。このオプションが有効の場合、PowerPoint 内の全ての画像が軽量化されます。このオプションが無効の場合、スライドマスターに含まれる画像の軽量化は行われません。</p>

JPEG のみ	
EXIFデータの削除（初期値：無効）	JPEG 画像は通常、Exifデータ(カメラのモデルや設定情報など)を保持しています。初期設定では、Exifデータは削除されず維持されたままになります。このオプションを有効にした場合、軽量化実行時に JPEG 画像から Exifデータを削除します。



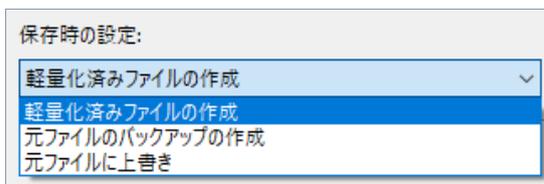
[軽量化レベル]設定画面内にある[PDF] および Microsoft Office オプションの[JPEG画質]設定は、それぞれ Microsoft Office 文書と PDF ファイル内に含まれる JPEG 画像に対して適用されます。[初期値]では、JPEG ファイルに対して解像度の変更は適用されません。解像度を変更したい場合には、新しい軽量化レベルプロファイルを作成し、任意の解像度を設定してください。

なお、現在 PNG ファイルおよび非圧縮の TIFF ファイルに対しての設定はありません。

### 3.2.2. 保存時の設定とファイルの保存先

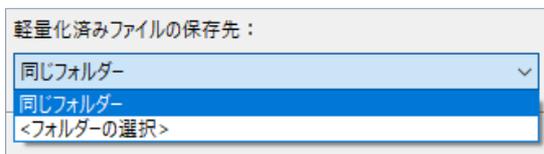
軽量化済みファイルを作成する際、作成方法および保存先を以下のように設定することが可能です。

#### 【保存時の設定】



- **軽量化済みファイルの作成（初期値）**  
このオプションを選択した場合、元ファイルに対して処理は行わず、軽量化済みのファイルが新規に作成されます。
- **元ファイルのバックアップの作成**  
このオプションを選択した場合、元ファイルのバックアップが指定した保存先に作成されます。元ファイルは軽量化済みのファイルで上書きされます。
- **元ファイルに上書き**  
このオプションを選択した場合、元ファイルを軽量化済みファイルで上書きします。

#### 【軽量化済みファイルの保存先】



- **同じフォルダー（初期値）**  
このオプションを選択した場合、軽量化済みファイルおよび元ファイルのバックアップを元ファイルが保存されているフォルダー内に保存します。
- **<フォルダーの選択>**  
このオプションを選択した場合、軽量化済みのファイルおよび元ファイルのバックアップを元ファイルとは別の指定したフォルダーに保存します。

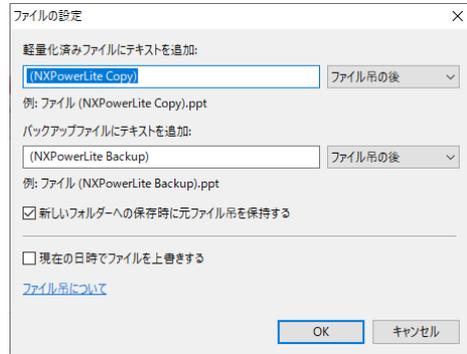


#### 元ファイルを軽量化済みのファイルで上書きする時の注意事項

[元ファイルに上書き]を選択した場合、元ファイルのバックアップは作成されません。また、NXPowerLiteによる軽量化処理は不可逆圧縮ですので、一度軽量化すると元のファイルに戻すことができません。その中でも PNG ファイルは軽量化時に色数を調整するため、まれに見た目が劣化する可能性がある点をご注意ください。

### 3.2.3. ファイル名

ファイルの軽量化実行後に作成されるコピーファイル名、または新規の軽量化済みファイルの名前に追加するテキストおよび追加位置を指定します。テキストの追加位置は、「ファイル名の前」「ファイル名の後」から選択することが可能です。

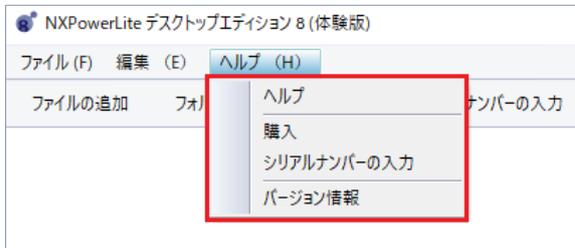


<b>軽量化済みファイルにテキストを追加</b>	<p>[保存時の設定:]が「軽量化済みファイルの作成」の際に追加するテキストを指定します。初期値では「(NXPowerLite Copy)」がファイル名の後に追加されるよう指定されています。</p> <p>元ファイル名 = Image.jpeg          軽量化済みファイル名 = Image (NXPowerLite Copy).jpeg</p>
<b>バックアップファイルにテキストを追加</b>	<p>[保存時の設定:]が「元ファイルのバックアップの作成」の際に追加するテキストを指定します。初期値では「(NXPowerLite Backup)」がファイル名の後に追加されるよう指定されています。</p> <p>元ファイル名 = Document.pdf          バックアップファイル名 = Document (NXPowerLite Backup).pdf</p>
<b>新しいフォルダーへの保存時に元ファイル名を保持する</b>	<p>[保存時の設定:]または[軽量化済みファイルの保存先:]が以下の場合、元ファイル名を保持して軽量化済みファイルを作成します（元ファイルを上書き、または元ファイルとは別の場所にファイルを保存する際の設定です）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [保存時の設定:] = 元ファイルを上書き</li> <li>• [軽量化済みファイルの保存先:] = &lt;フォルダーの選択&gt;</li> </ul>
<b>現在日時でファイルを上書きする</b>	<p>初期設定では、元ファイルと同じ日時を軽量化済みファイルに適用しますが、この設定にチェックを入れると、ファイルの「作成日時」「更新日時」を現在日時で更新できます。</p>

軽量化処理後、フォルダー内に同じファイル名がすでに存在していた場合には、表示されるダイアログから以下の対処法を選択してください。

- **ファイルを上書きする**  
 本オプションを選択した場合、保存先のフォルダー内にすでに存在している同名ファイルに対して軽量化済みファイルで上書きを行います。
- **軽量化処理をキャンセルする**  
 NXPowerLite による処理をキャンセルします。
- **両方のファイルを保持する（以下の例を参照）**
  - 元ファイル名： Presentation.ppt
  - すでに存在するファイル名： Presentation (NXPowerLite Copy).ppt
  - 新規で作成するファイル名： Presentation (NXPowerLite Copy) (1).ppt

### 3.3. ヘルプ



<p><b>ヘルプ</b></p>	<p>NXPowerLite のプログラムに組み込まれたヘルプドキュメントを表示します。</p>
<p><b>購入</b></p>	<p>ブラウザ上で NXPowerLite の価格表ページを開きます。</p> <p>▼価格表</p> <p><a href="https://www.nxpowerlite.jp/store/">https://www.nxpowerlite.jp/store/</a></p>
<p><b>シリアルナンバーの入力</b></p>	<p>NXPowerLite を製品版として利用するために必要なシリアルナンバーの入力画面を表示します。シリアルナンバー登録の詳細については、2.2 をご参照ください。</p>
<p><b>バージョン情報</b></p>	<p>バージョン情報、名前、著作権表示、ライセンス表示が確認できるウィンドウを表示します。</p>

## 4. その他

### 4.1. ファイル軽量化の仕組み

#### PowerPoint、Word、Excel

- unnecessaryメタデータの削除
- 「高速保存」情報の削除
- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- 埋め込まれた文書の図形化 (オプション)

#### PDF (PDF、PDF/A、PDF/X、PDF/E、PDF/UA、PDF/VT)

- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- プライベートデータを削除 (オプション)

#### JPEG

- JPEG 圧縮

#### TIFF

- LZW 圧縮を使用して TIFF ファイル内の非圧縮画像を軽量化
- マルチページ TIFF ファイルに対しても LZW 圧縮を使用して非圧縮ページを軽量化



Zip ファイルでは、Zip ファイルから対象ファイル抽出後に上記の方法によって軽量化されたファイルで上書きします。軽量化処理されたすべてのファイルは再度 Zip 圧縮されます。

## 4.2. 軽量化レベルの設定による JPEG 画質レベルの比較

以下の表は、JPEG 画質の各軽量化レベルで軽量化した際のファイルサイズと軽量化率の結果となります。結果は軽量化する画像によっても異なりますので、こちらの情報はあくまで目安としてください。



軽量化前の画像



JPEG 画質 : 9



JPEG 画質 : 8



JPEG 画質 : 7



JPEG 画質 : 6



JPEG 画質 : 5



JPEG 画質 : 4



JPEG 画質 : 3



JPEG 画質 : 2



JPEG 画質 : 1

以下の表は、元のファイルサイズと各軽量化レベルで軽量化したファイルサイズの表となっています。ご覧のとおり、JPEG 画像に対して軽量化する際に推奨する初期値の「8」(Office ファイル内の JPEG 画像に対しては「7」が推奨する値です)で軽量化したファイルは、原本ファイルの 23%に軽量化されたにも関わらず表示や印刷には必要十分な画質となっています。

JPEG 画質	ファイルサイズ(KB)	軽量化後のファイル容量(%)
軽量化前	494	
9	207	41
8	117	23
7	90	18
6	76	15
5	66	13
4	59	12
3	52	11
2	44	9
1	34	7

JPEG 画像に対する軽量化率

## 4.3. NXPowerLite を大量に展開する

バッチファイルやレジストリスクリプトを利用することで、複数の端末への NXPowerLite のインストール作業やシリアルナンバー・設定値の一括適用が簡単に行えます（実行には適切な権限が必要です）。なお、マイナーバージョンアップ時のインストーラーを利用した標準インストールによるバージョンアップや、UI 上からの操作による設定値の変更を行うと、レジストリの情報が変更または削除されます。バッチファイルやレジストリスクリプトを利用した展開方法では、マイナーバージョンアップの際もバッチファイルやレジストリスクリプトによる上書きインストールを行ってください。標準インストールによるマイナーバージョンアップを行った場合、プログラムは体験版または体験期限切れとして起動しますが、再度レジストリスクリプトを実行することでご利用になれます。

### 4.3.1. 複数の PC に NXPowerLite を大量導入する

この方法では以下のレジストリにシリアルナンバーを登録します（[Administrator]権限が必要です）。

- **32bit OS の場合**  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0
- **64bit OS の場合**  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0

1. NXPowerLite のインストーラーをローカルもしくはネットワーク上の任意の場所に保存します。
2. メモ帳などのテキストエディターに、以下の記述例を貼り付けます。

---バッチファイル記述例-----

```
Z:¥フォルダー名¥NXPowerLiteSetup8*.exe /quiet NXNAME="オーシャン太郎"  
NXCODE="12345-12345-12345-12345-12345"
```

※ 貼り付け時にダブルクォーテーション「"」が全角になる場合がありますので、その場合は半角に変更してください。

※ 名前とシリアルナンバーは、同一 PC 上の全てのユーザーアカウントに適用されます。

3. フォルダーのパス名はインストーラーを保存した場所に、[NXNAME]で指定する名前および [NXCODE]で指定するシリアルナンバーはお客様ご自身のものに変更します。
4. 任意のファイル名を付け、拡張子を[.bat]にして任意の場所にファイルを保存します。
5. クライアント PC でバッチファイルを管理者として実行すると、各クライアント PC 上でサイレントインストールが実行されます。

**【特定の連携機能をインストールしない場合】**

1. NXPowerLite のインストーラーをローカルもしくはネットワーク上の任意の場所に保存します。
2. メモ帳などのテキストエディターに、以下のバッチファイル記述例を貼り付けます。

---バッチファイル記述例（Outlook 連携機能のみインストールしない場合）-----

```
Z:¥フォルダー名¥NXPowerLiteSetup8*.exe /quiet ADDLOCAL=ALL  
REMOVE=OutlookIntFeature NXNAME="オーシャン太郎" NXCODE="12345-12345-12345-  
12345-12345"
```

---バッチファイル記述例-----

(PowerPoint 連携機能をインストールしない、かつ E メール連携時「埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する」の設定を無効にする場合)

```
Z:¥フォルダー名¥NXPowerLiteSetup8*.exe /quiet ADDLOCAL=ALL  
REMOVE=PowerPointIntFeature NXOLNOASKFLATTEN="1" NXNAME="オーシャン太郎"  
NXCODE="12345-12345-12345-12345-12345"
```

-----

※ 貼り付け時にダブルクォーテーション「"」が全角になる場合がありますので、その場合は半角に変更してください。

※ 名前とシリアルナンバーは、同一 PC 上の全てのユーザーアカウントに適用されます。

3. フォルダのパス名はインストーラーを保存した場所に、[NXNAME]で指定する名前および [NXCODE]で指定するシリアルナンバーはお客様ご自身のものに変更し、[REMOVE]で指定するプロパティ値を追記します。プロパティ値は以下の【REMOVE プロパティ値】を、その他 E メール連携時の設定を指定できるオプションに関しては、【その他オプション】をご参照ください。
4. 任意のファイル名を付け、拡張子を[.bat]にして任意の場所にファイルを保存します。
5. クライアント PC でバッチファイルを管理者として実行すると、各クライアント PC 上でサイレントインストールが実行されます。

### 【REMOVE プロパティ値<sup>1</sup>】

- PowerPointIntFeature (PowerPoint 連携)
- WordIntFeature (Word 連携)
- ExcelIntFeature (Excel 連携)
- OutlookIntFeature (Outlook 連携)
- LotusNotesIntFeature (LotusNotes 連携)
- ExplorerIntFeature (Explorer 連携)
- DesktopShortcut (デスクトップ上にショートカットを作成)

### 【その他のオプション】

- NXOLNOASKFLATTEN="1"  
(Eメール連携時、「埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する」の設定を無効)
- NXOLMINEMAILSIZE="xx"  
(Eメール連携時、軽量化を実行する際の最小サイズを指定(KB))
- NXOLNOZIP="1"  
(Eメール連携時、Zip 圧縮の実行を無効)
- NXOLMINZIPSIZE="xx"  
(Eメール連携時、Zip 圧縮を実行するファイルサイズ(KB))
- NXOLMINZIPREDUCTION="xx"  
(Eメール連携時、Zip 圧縮時の最小 Zip 圧縮率(%))
- NXOLNOASKZIP="1"  
(Eメール連携時、「Zip 圧縮の実行をそのつど確認する」の設定を無効)
- NXOLDISABLEENHANCEDOUTLOOK="0"  
(Eメール連携時、軽量化したいファイルが添付された受信メールを右クリックし、「軽量化の実行」 ボタンを選択することで受信ファイルの軽量化を行う機能を無効)

---

<sup>1</sup> インストール対象外の連携機能を複数指定する場合は、[REMOVE]の各プロパティ値を「, (カンマ)」で区切ります。

### 【軽量化レベルプロファイルを作成する場合】

1. NXPowerLite のインストーラーをローカルもしくはネットワーク上の任意の場所に保存します。
2. メモ帳などのテキストエディターに、以下のバッチファイル記述例を貼り付けます。  
---バッチファイル記述例 (PDF ファイルの軽量化レベルを設定する場合) -----  
軽量化レベルプロファイル名 : test、PDF の JPEG 画質 : 8、プライベートデータの削除 : 無効と  
設定する場合(バッチファイルに記述しない設定値は初期値が適用されます)  
Z:¥フォルダー名¥NXPowerLiteSetup8\*.exe /quiet NXDSETTINGSPROFILENAME="test"  
NXDTJPEGQUALITYPDF="8" NXDTREMOVEHIDDENCONTENTPDF="0" NXNAME="名前"  
NXCODE="シリアルナンバー"  
-----  
※ 貼り付け時にダブルクォーテーション「"」が全角になる場合がありますので、その場合は半角  
に変更してください。  
※ 名前とシリアルナンバーは、同一 PC 上の全てのユーザーアカウントに適用されます。  
※ Word や PowerPoint 等の特定の連携機能をインストールしない場合は、前述の「特定の連携  
機能をインストールしない場合」をご参照ください。
3. フォルダのパス名はインストーラーを保存した場所に、[NXNAME]で指定する名前および  
[NXCODE]で指定するシリアルナンバーはお客様ご自身のものに変更し、作成したい軽量化レベル  
プロファイルの設定値を追記します。
4. 任意のファイル名を付け、拡張子を[.bat]にして任意の場所にファイルを保存します。
5. クライアント PC でバッチファイルを管理者として実行すると、各クライアント PC 上でサイレント  
インストールが実行されます。

### 【PDFの軽量化レベル】

- NXDTJPEGQUALITYPDF="x" (PDF の画質レベル [低画質:1] [高画質:9])
- NXDTALLOWRESIZINGPDF="0" (PDF の「次の解像度で軽量化」を無効)
- NXDTSCREENWIDTHPDF=xxxx (PDF の解像度 [横])<sup>1</sup>
- NXDTSCREENHEIGHTPDF=xxxx (PDF の解像度 [縦])<sup>1</sup>
- NXDTREMOVEHIDDENCONTENTPDF="0" (「プライベートデータの削除」を無効)
- NXDTSUBSETEMBEDDEDFONTSPDF="1" (「サブセット埋め込みフォント」を有効)

### 【PowerPoint、Word、Excelの軽量化レベル】

現在、PowerPoint、Word、Excel の軽量化レベルの設定値は共通になります。それぞれ別の軽量化  
レベルを設定することはできません。

- NXDTJPEGQUALITYOFFICE="x" (Office の画質レベル [低画質:1] [高画質:9])
- NXDTALLOWRESIZINGOFFICE="0" (Office の「次の解像度で軽量化」を無効)

---

<sup>1</sup> 指定できる解像度の値は後述の【解像度】をご参照ください。

- NXDTSCREENWIDTHOFFICE= xxxx (Office の解像度 [横])<sup>1</sup>
- NXDTSCREENHEIGHTOFFICE= xxxx (Office の解像度 [縦])<sup>1</sup>
- NXDTALLOWCROPPINGOFFICE="0" (Office の「画像のトリミングを許可」を無効)
- NXDTREMOVEHIDDENCONTENTOFFICE="0" (Office の「埋め込まれた文書の図形化」を無効)

#### 【JPEG の軽量化レベル】

- NXDTJPEGQUALITYJPEG="7" (JPEG の画質レベル [低画質:1] [高画質:9])
- NXDTALLOWRESIZINGJPEG="1" (JPEG の「次の解像度で軽量化」を有効)
- NXDTSCREENWIDTHJPEG="xxxx" (JPEG の解像度 [横])<sup>1</sup>
- NXDTSCREENHEIGHTJPEG="xxxx" (JPEG の解像度 [縦])<sup>1</sup>
- NXDTPRESERVEMETADATAJPEG="0" (JPEG の「EXIF データの削除」を有効)

#### 【その他】

- NXDTSETTINGSPROFILENAME="プロファイル名" (作成するプロファイル名)

#### 【解像度】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| • 3840 x 2160 | • 1600 x 1200 |
| • 2880 x 1800 | • 1440 x 900  |
| • 2560 x 1600 | • 1280 x 1024 |
| • 2560 x 1440 | • 1280 x 800  |
| • 2560 x 1080 | • 1024 x 768  |
| • 1920 x 1200 | • 800 x 600   |
| • 1920 x 1080 | • 600 x 480   |
| • 1680 x 1050 | • 480 x 480   |



作成した軽量化レベルプロファイルは、Outlook 上の「軽量化レベル」にも適用されます。

<sup>1</sup> 指定できる解像度の値は【解像度】をご参照ください。

## 4.3.2. シリアルナンバーや各種設定値を一括適用する

レジストリスクリプトを実行することにより、シリアルナンバーや軽量化レベルなどの各種設定を同一 PC 上の全てのアカウントに適用することが可能です（インストーラーを利用した標準インストールでは、シリアルナンバーを登録した Windows アカウント以外では体験版として NXPowerLite が起動します）。この方法を実行するには、[Administrator]または[Power Users]の権限が必要です。

### 【シリアルナンバー登録用のレジストリスクリプトを作成する場合】

1. メモ帳などのテキストエディターに、以下の記述例を貼り付けます。

---レジストリスクリプト記述例(32bit OS の場合) -----

REGEDIT4

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0]

"Registered name"="オーシャン太郎"

"Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"

---レジストリスクリプト記述例(64bit OS の場合) -----

REGEDIT4

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0]

"Registered name"="オーシャン太郎"

"Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"

-----  
※ 一行目の「REGEDIT4」は必須です。またファイル内には不要なスペースを入れないようにご注意ください。

2. 名前とシリアルナンバーをそれぞれお客様ご自身のものに変更します。
3. 任意のファイル名を付け、拡張子を[.reg]にして任意の場所にファイルを保存します。
4. 設定を適用したい PC 上で、作成したファイルを実行します。

### 【E メール連携関連の設定変更用レジストリスクリプトを作成する場合】

- **32bit OS の場合**

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0¥Outlook]

- **64bit OS の場合**

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0¥Outlook]

- 受信メールの右クリックメニューから添付ファイルの軽量化を行う機能を無効にする

"Disable Enhanced Outlook Integration" = hex: 01

※ 本機能は初期値では有効です。上記レジストリ情報を追加することで無効にできます。

【レジストリスクリプトを実行したユーザーアカウントにのみ適用される設定】

シリアルナンバー情報	
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\8.0]	
名前	"Registered name"="name"
シリアルナンバー	"Registered code"="12345-12345-12345-12345-12345"
ファイル名の設定	
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\8.0\Desktop]	
軽量化済みファイルに追加されるテキストを追加	"Modifier"=" (NXPowerLite Copy)"
元ファイルのコピーファイルに追加されるテキストを追加	"Modifier (Backup)"=" (NXPowerLite Backup)"
軽量化済みファイルに追加されるテキストを追加	[00=前][01=後] "Modifier After"=hex:01
元ファイルのコピーファイルに追加されるテキストを追加	[00=前][01=後] "Modifier After (Backup)"=hex:01
元のファイルの日付と時刻を保持する	[00=保持しない][01=保持する] "Original DateTime"=hex:00
保存先の規定値を[軽量化済みファイルの作成(同じフォルダー)]にする	[00000000=しない][00000001=する] "Output Finalization mode"= dword:00000001
Eメール連携関連	
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Neuxpower\NXPowerLite\8.0\Outlook]	
埋め込まれた文書の図形化実行をそのつど確認する	[00=確認しない][01=確認する] "Ask Flatten EO"= hex:01
軽量化を実行する際の最小サイズ (規定値：500(KB))	"Min Email Size"= dword:000001f4 ※「dword」の値は16進数で入力してください
Zip圧縮を実行する	[00=実行しない][01=実行する] "Enable Zip" = hex:01
Zip圧縮を実行するファイルサイズ (規定値：1000(KB))	"Min Zipped Email Size" = dword:000003e8 ※「dword」の値は16進数で入力してください
Zip圧縮時の最小Zip圧縮率 (規定値：10(%))	"Min Zipped Email Reduction" = dword:0000000a ※「dword」の値は16進数で入力してください
Zip圧縮の実行をそのつど確認する	[00=確認しない][01=確認する] "Ask Zip Attachments" = hex:00
Zip圧縮後のファイル名の拡張子を変更する	[00=実行しない][01=実行する] "Use Custom Zip File Ext" = hex:01
Zip圧縮後のファイル名の拡張子 (規定値：.piz)	"Custom Zip File Ext" = ".piz"

また以下の設定値では、Outlook にてメールの新規作成画面を開いた際（Lotus Notes の場合は起動した際）、NXPowerLite による軽量化設定を行うことが可能です。

- **Outlook の場合**

[HKEY\_CURRENT\_USER¥Software¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0¥Outlook]

- メール新規作成画面を開いた際の軽量化設定 [00=無効] [01=有効]

"Optimization status" = hex:01

- **Lotus Notes の場合**

[HKEY\_CURRENT\_USER¥Software¥Neuxpower¥NXPowerLite¥8.0¥Notes]

- Lotus Notes を起動した際の軽量化設定 [00=無効][01=有効]

"Optimization status" = hex:01

## 4.4. ファイルが軽量化されない理由

### 4.4.1. ファイルに関する問題

軽量化実行後の結果画面には、ファイル名の下に軽量化できなかった理由の一覧が表示されます。以下の表は、各理由の詳細になります。

理由	詳細
すでに軽量化済みのファイル	NXPowerLite ですでに軽量化されたファイル。軽量化の設定を変更する(3.2.1 参照) ことにより再度軽量化することが可能です。
暗号化またはパスワード保護されたファイル	暗号化もしくはパスワードで保護されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。暗号化もしくはパスワードを解除してから、軽量化を行ってください。
デジタル署名されたファイル	デジタル署名されたファイルに対して軽量化を行うことはできません。デジタル署名を削除してから軽量化を行い、軽量化処理完了後に再度デジタル署名を追加してください。
現在の設定では軽量化できないファイル	設定した軽量化レベルでは軽量化できないファイル(解析不能、破損している場合も本メッセージが表示されます)。ファイル内に多数の画像が貼り付けられているにも関わらず、軽量化できない場合は調査いたしますので、ご提供可能な場合には弊社サポートまでファイルを送付してください。
予期せぬエラー	軽量化中にエラーが発生したファイル。詳細は、トラブルシューティングを参照してください。
軽量化処理をキャンセルされたファイル	ファイルの軽量化処理前または処理中にキャンセルされました。
高速保存された Word 文書	[高速保存を許可する]オプションが有効になっている Word 文書。古いバージョンの Microsoft Office で作成されたファイルであるため、Office 2003 以降の Office のバージョンで開き、再保存してから軽量化を行ってください。
サポートしていないファイル形式	軽量化対象の対応ファイル形式に関する最新情報は動作環境を参照してください。例として拡張子が.doc であるファイルでも、中身が.rtf 形式のファイルは軽量化できません。
Office 97 より前の Office で作成されたファイル	Office 97 または PDF バージョン 1.4 より前のバージョンで作成されたファイルは軽量化されません。
ファイルが開けないまたは保存できないため生成できなかった PDF ファイル	ファイルの軽量化処理後に破損または問題が発生した可能性があります。詳細は、トラブルシューティングを参照してください。
サポートしていない PDF ファイル形式 (PDF ポートフォリオ)	NXPowerLite は PDF ポートフォリオファイルを軽量化できません。
すでに圧縮済みの TIFF ファイル	NXPowerLite は非圧縮の TIFF ファイルの軽量化に対応しています。圧縮済みの TIFF ファイルに対して軽量化を行うことはできません。

サポートしていないタグを含む TIFF ファイル	TIFF ファイル内のカスタムタグ内に画像が含まれています。NXPowerLite はスタンダードタグ内に保存された画像のみを処理します。
サポートしていないアプリケーションで作成されたファイル	Microsoft Office 以外のアプリケーションを使用して作成されたファイルの軽量化はサポートしていません。

## 4.4.2. システムエラー

NXPowerLite を使用中にエラーが発生した場合の原因については、以下の表を参照してください。いずれにも当てはまらない場合にはシステム管理者または弊社サポートまでお問い合わせください。

理由	詳細
アクセスが拒否されました	ファイルへのアクセスに必要な権限がないユーザーで NXPowerLite を実行しています。軽量化処理に必要な権限へ変更してください。
元ファイルを読み込めません(ファイルは存在しません)	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、ファイルの削除/移動/ファイル名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
フォルダーが存在しません	軽量化対象ファイルとして NXPowerLite で指定した後、フォルダーの削除/移動/フォルダー名の変更などにより、ファイルパスが変更されました。
元のファイルを上書きできません(共有違反)	他のアプリケーションまたはシステム処理によりファイルが開いた状態であるため、NXPowerLite がファイルにアクセスできません。

## 4.4.3. トラブルシューティング

ファイルの軽量化ができない理由として、以下の理由があげられます。

- ファイルが破損している
- アクセス権限のないネットワーク上のドライブまたは外付けデバイスにファイルが保存されている

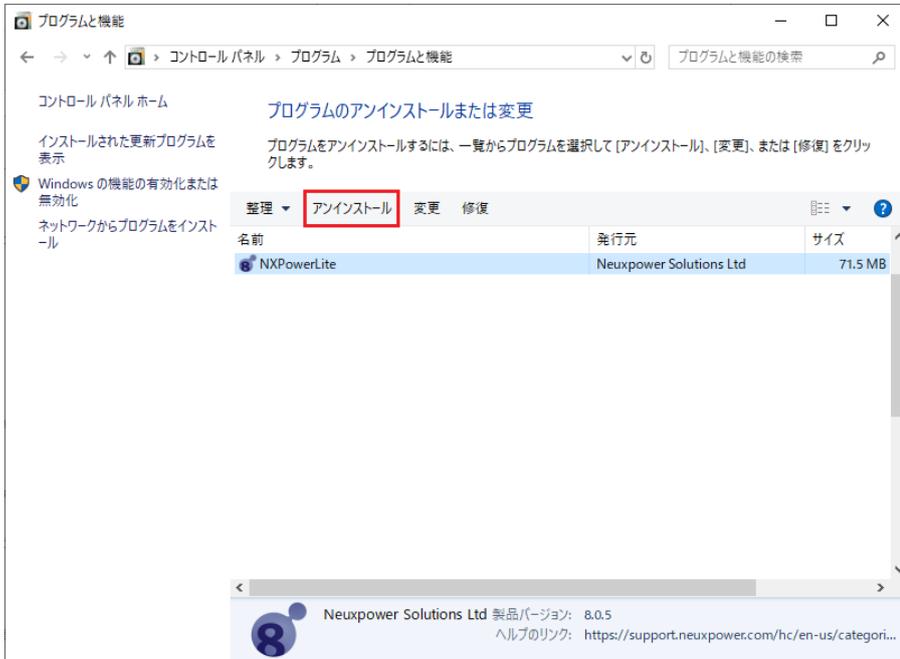
### 解決方法

- **ファイルの再保存**  
ファイル編集が可能なアプリケーションでファイルを開き、別名で保存します。
- **元のファイル/軽量化済みファイルが保存されているフォルダーがローカルマシンのハードディスク上に保存されていることを確認**  
ローカルマシンのハードディスク上(デスクトップなど)に軽量化対象の元ファイルをコピーして保存しておきます。

上記の手順でも問題が解決しない場合は、技術サポートへお問い合わせください。

## 4.5. アンインストール方法

1. Windows の[コントロールパネル]-[プログラムと機能]を選択します。
2. ダイアログ内の[NXPowerLite]を選択し、[アンインストール]をクリックします。



3. 「NXPowerLite をアンインストールしますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。



- ※ NXPowerLite デスクトップエディションのインストーラーを起動し、「削除」メニューからアンインストールを行うことも可能です。



## サポート

不明点や不具合などがございましたら、下記NXPowerLite FAQページをご参照ください。

<https://www.nxpowerlite.jp/support/>

FAQをご覧になっても問題が解決しない場合や、その他詳細につきましては、以下のページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://www.nxpowerlite.jp/contact-us/>

NXPowerLiteに関するお問い合わせはメールのみになります。

電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

## NXPowerLite 開発元

**Neuxpower Solutions Ltd.**

URL: <https://www.neuxpower.com/>

neuxpower

## NXPowerLite 国内総販売代理店

**株式会社オーシャンブリッジ**

URL: <https://www.oceanbridge.jp/>

**OCEANBRIDGE**  
つかえるITを、世界から。